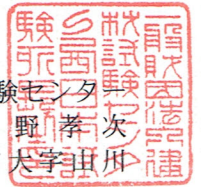


品質性能試験報告書



一般財団法人 建材試験センター
西日本試験所長 真野 孝次
山口県山陽小野田市大字

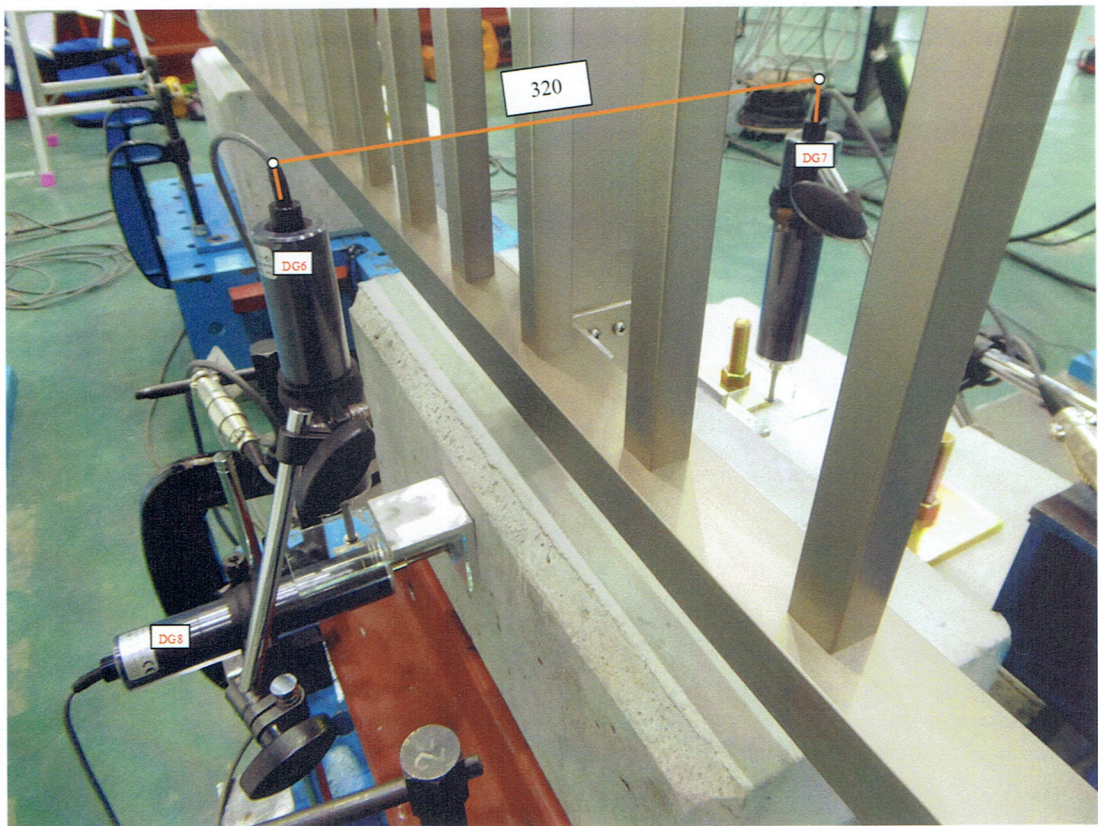
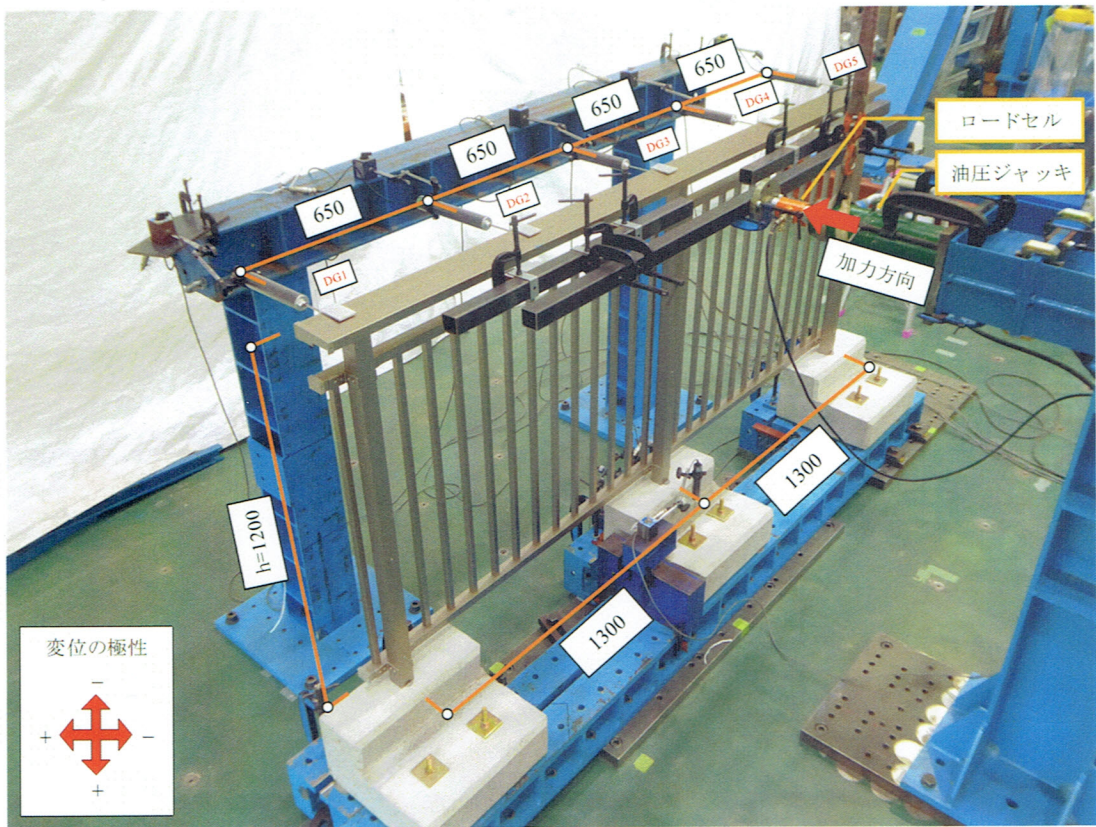


試験名称	手すりの水平荷重試験				
依頼者	名称：有限会社加藤金属 所在地：大阪府八尾市太田1丁目5番地				
商品名	アルミ持出格子手摺				
試験体	支柱の支持間隔 L (mm)	主な構成材の寸法 (mm)		基礎コンクリートの 圧縮強度 (N/mm ²) ¹⁾	数量 (体)
	1300	笠木：120×35 支柱：50×50		22.9	1
参照：図1 (試験体) 備考：記載内容は、依頼者提出資料による。 注 ¹⁾ 基礎コンクリートの圧縮強度は、依頼者が基礎コンクリート打設時に作製した供試体 (φ100×200) 3本の平均値を示す。					
試験方法	準拠規格：優良住宅部品性能試験方法書 墜落防止手すり BLT SR：2019② (一般財団法人ベターリビング)				
	試験番号	試験方法名称		種別レベル	
	BLT SR-05	ユニットの水平荷重試験 (1) (床支持)		手すりユニット床支持方式 A.150型	
	加力装置：油圧ジャッキ (容量：+300kN, -100kN) 測定装置：ロードセル (容量：50kN), 電気式変位計 (容量：100mm及び50mm) 参照：写真1 (試験実施状況)				
試験結果	295 (N/m) 時		1450 (N/m) 時の試験体の状況	最大荷重時	
	支柱の たわみ ²⁾ (mm)	笠木のたわみ ²⁾ (mm)		荷重 P/2L (N/m)	試験体の状況
	δ1	δ2 δ3			
	13.1	0.4 0.4	・支柱のたわみ及び脚部の変形 ・笠木のたわみ	1833	・支柱のたわみ及び 脚部の変形 ・笠木のたわみ ・基礎コンクリートの 割れ
注 ²⁾ たわみδ1～δ3は、下式で算出した。 支柱のたわみ：δ1 = {[DG3 - DG8 - (DG6 - DG7)/320 × 1180]/1180} × 1200 笠木のたわみ：δ2 = DG2 - (DG1 + DG3)/2, δ3 = DG4 - (DG3 + DG5)/2 参照：表1 (繰返し荷重及び諸荷重時における各部のたわみ) 図2 (荷重-たわみ曲線) 写真2～写真7 (試験体の状況)					
試験日	2019年12月25日				

つづく

試験所長の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

単位 mm



注^{a)} DG1～DG5は、笠木の頂部から20mm下げた位置で計測を行った。
写真1 試験実施状況

試験所長の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。